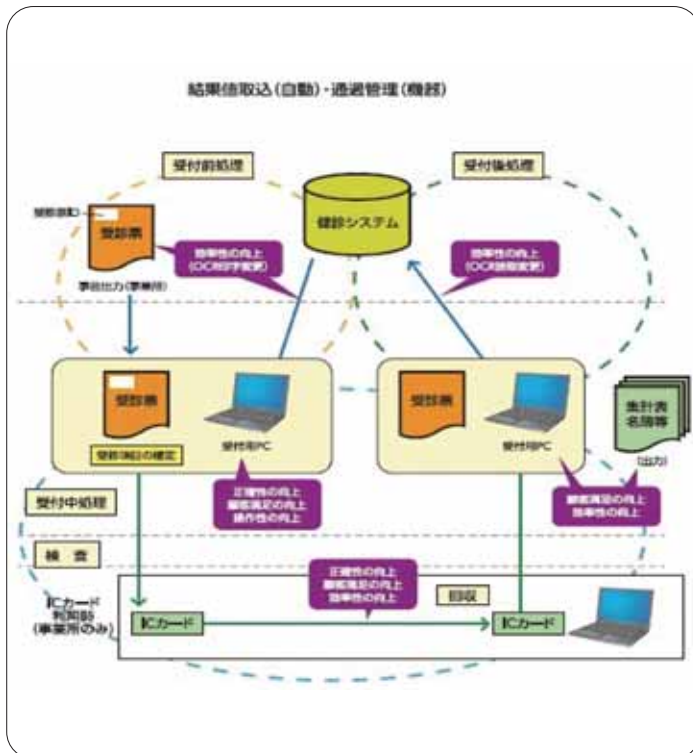


【集団健診】事業所健診におけるPC受付、ICカード健診の導入について

事業所健診の結果処理については、平成16年度の健診管理システム稼働以来、OCR受診票を用いてデータ入力、チェック作業を実施してきましたが、平成26年度において、受付時の受診項目の確定、項目の未受診・過受診防止及び結果処理の短縮等を目的に、PC受付、ICカード健診のシステムを構築しました。これは、事業所健診IT化へ向けての一環であり、受診票部門・PC受付部門・ICカード健診部門に分かれ検討を進めました。

平成27年度からの本稼働に向けて、3月にはICカード健診に対応した機器を整備し、デモ健診及び健診スタッフの内部研修を実施しました。

1 新システムフロー



2 システム構築のメリット

(1) 顧客満足度の向上

- ① 健診実施集計表・受診者一覧表を会場で出力可能となり、受診人数の迅速且つ正確な把握
- ② 人的ミスによる未受診・過受診の防止
- ③ 結果書納品までの期間短縮

(2) 健診現場での業務作業の迅速化

- ① 受診者の実施項目・項目毎の人数の把握により、健診の進捗管理が可能
- ② ICカード健診の場合受診票回収時PC登録することで、検査項目の漏れを防止

(3) 健診後の処理軽減化

- ① 健診現場で受診項目・個人属性をデータで確定することで、チェック作業を軽減
- ② 受診項目をコースでのオーダーにすることで、請求依頼関連処理を自動化

【人間ドック】健康管理ファイル・健康記録・健康管理カードの提供

平成26年11月より、人間ドック受診者を対象に健康管理ファイルと健康記録、健康管理カードの3点の提供を始めました。

健康管理ファイルは人間ドック結果書が10年分保管可能で、健康記録は検査結果を記入していただくことで健康に対する意識向上に、健康管理カードは人間ドック結果内容の問い合わせや健康相談にご利用いただけます。



【精度管理】

1 労働衛生サービス機能評価認定更新

公益社団法人全国労働衛生団体連合会の労働衛生サービス機能評価認定を更新しました。この制度は、労働衛生施設の組織と事業活動を調査・評価して、労働衛生サービスの質の向上に資することを目的とした制度です。

労働安全衛生法に基づく各種の健康診断を適切に実施できる機能を有し、かつ、精度管理の優良な労働衛生施設を的確に公平に評価する制度であり、当事業団は平成11年に認定を取得（当時は、労働衛生機能評価認定）して以来、6回目の更新を迎えました。今回は、平成26年10月に更新申請、平成27年2月の訪問調査を経て、6月新たな認定書が届きました。

これからも、お客様に信頼される良質な労働衛生サービスを提供するため、体制の整備や技術向上に努めて参ります。



2 「人間ドック健診施設機能評価」認定更新

平成26年度に日本病院会、日本人間ドック学会が実施する「人間ドック健診施設機能評価」の認定審査を受審し、平成27年4月1日付で認定を受けました。

当事業団は平成17年に栃木県内の人間ドック健診施設で初の認定を受けて以降、今回は2回目の更新となりました。

「人間ドック健診施設機能評価」は一定の評価基準に基づき、人間ドック健診施設の評価を行い、健診の質の改善を図り、受診者が安心して受けられることを目的として実施されています。

審査は「施設運営のための基本的体制」、「受診者の満足と安心」、「人間ドック健診の質の確保」の3領域で、約160にわたる評価項目について書類審査及び現地調査を行い、平均以上の評価を得られた施設のみ認定を受けることができます。

今後もお客様に満足いただける施設として、高い精度の健診を提供できるよう努めていきたいと考えております。



【検診車の整備】新しい検診車が仲間入り

平成26年3月、検査精度の維持・向上を目的として、胸部デジタル検診車1台、胃部デジタル検診車2台、婦人検診車1台の計4台を更新整備しました。

1 胸部検診車

- ・中型車をベースとしたコンパクトな設計となっており、小規模会場での対応を目的としています。
- ・発動発電機をより静かに稼働できるように考慮した設計にするなどの改良を加えています。



2 胃部検診車（X線装置1台搭載） 2台

- ・従来の中型車ベースから大型車ベースの設計に変更して、検診車内の待合室を広く確保しました。
- ・受診される方の出入り口となる階段にLEDライトを設けるなど、安全に乗降できるように配慮しています。



3 婦人検診車

- ・高齢者が子宮がん検診を受けやすい環境を整えるため、床の段差をなくして安全面に配慮しました。
- ・検診台は、受診される方に座っていただくだけで自動的に検診体勢がとれる自動開脚式を採用し、受診される方の安全、安楽がより保てるようになっています。
- ・完全個室の更衣室を設置したほか、検診台の前面に二重のカーテンをかけるなど、プライバシーに一層配慮した設計となっています。
- ・壁や天井は柔らかな色合いのクロス張りにし、外装は優しい色合いのさくら柄にするなど、リラックスして受診していただける工夫を施しました。



【施設の整備】健康支援センター・多目的運動コーナー・健康づくり情報コーナーの整備

健康支援センター内を改装し、安心して特定保健指導や健康相談を受けていただける健康相談室を整備しました。さらに、健康情報提供エリアとして多目的運動コーナーを整備し、ヨガ教室等の開催場所として活用するほか、健康づくりに関する図書などを自由に閲覧することができる健康づくり情報コーナーを整備しました。

健康支援センターの様子



健康相談室（健康支援センター内）



多目的運動コーナー



健康づくり情報コーナー（図書コーナー）



【普及啓発】

1 がん検診啓発セミナーの開催

11月30日(日)に、下野新聞社との共催により「がん検診啓発セミナー」(とちぎ de ピンクリボン)をとちぎ健康の森講堂において開催し、がん検診受診を啓発するための基調講演(栃木県立がんセンター 安藤二郎先生、当事業団 阿部聡子先生)と特別講演(麻木久仁子氏)を行いました。また、会場では、栃木県、あけぼの会の協力を得てパネルや乳がん触診モデルなどの展示及びパンフレット等の配布を行いました。



2 J R宇都宮駅に広報看板を掲示

がん検診受診率向上を目的として、J R宇都宮駅改札前通路の電飾看板を利用し、各種がんの現状やがん検診の必要性等、がん検診の普及啓発を7月より開始しました。



3 ねんりんピック栃木2014への参画

栃木県、厚生労働省が主催する60歳以上を中心とした全国的なスポーツや文化の競技大会である「ねんりんピック栃木2014」(10月4日～7日)にがん予防啓発関連のブースを設置し、がん検診の普及啓発活動を実施しました。



4 ホームページをリニューアル

従来から県民の健康や環境に関する理解を深め、受診率向上を図るためにホームページの公開を行ってまいりましたが、より多くの方に利用していただけるものにするためにホームページの全面的なリニューアルを行いました。

特にアクセスの多い職場の健康診断、人間ドック、腸内細菌検査事業のページについて、トップページから直接アクセスできるように作成し、利便性の向上に努めました。

